

【事例 H26-06-04】静岡県富士市

こころとくらしの悩み無料休日相談会
＝ 専門職による包括的な相談支援事業 ＝

働き盛り世代である壮中年期男性に自殺者が多いことから、こころの相談だけでなく、法律相談・健康相談を併せた包括的な相談会を休日に開催。

【実施主体】静岡県富士市

【大綱の分類】6 社会的な取組で自殺を防ぐ④

【事業予算】平成 25 年度 82 千円（82 千円）

【利 点】

- ・ 休日開催、図書館会議室を会場にすることにより、参加率を上げる。
- ・ こころの相談に限らない相談が可能。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ▼働き盛り世代である壮中年期男性の自殺者が多い。
- ▼平成 19 年度より臨床心理士による「ストレス相談」事業を実施。
- ▼平日開催ということもあり勤労者の相談は少なかった。
- ▼関係機関等の連携および協働を図ることを目的に平成 21 年度から開催している自殺対策連絡会において、包括的な相談会の開催が必要との意見が出された。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ・ 多重債務等の法律相談や身体に関する健康相談を併せた包括的な相談会を対象者が利用しやすい休日に設定。

【具体的な内容・実施の過程】

<相談会>

- ・ 「ストレス相談」「生活お困りごと相談」「健康相談」と題し、臨床心理士・司法書士・保健師が 2 名ずつで対応。
- ・ 原則事前予約制としたが、「健康相談」については当日受付可とした。
- ・ 1 回の相談につき 50～60 分の相談枠。
- ・ 相談料は無料。
- ・ 3 月の自殺対策強化月間にあわせて開催。
- ・ 自殺のハイリスク者が来館しやすいと想定し、会場を市立図書館内会議室（無料で利用可）とした。

<その他>

- ・ 図書紹介コーナーにメンタルヘルス関連書籍の配置。
- ・ 来館者に対し唾液によるストレス度測定等の企画展も同時実施。

【成果】

平成 23 年度 開催数 ; 1 回 相談件数 : 15 件 (ストレス : 6 件、生活お困り : 5 件、健康 : 4 件)

平成 24 年度 開催数 ; 1 回 相談件数 : 9 件 (ストレス : 5 件、生活お困り : 3 件、健康 : 1 件)

平成 25 年度 開催数 ; 2 回 相談件数 : 17 件 (ストレス : 7 件、生活お困り : 10 件、健康 : 0 件)

- ・ 相談員である臨床心理士と司法書士が本事業を通じ顔の見える関係となり、専門的な見地や対応についての情報交換ができるようになるなど、関係機関のネットワーク強化につながった。

【補足】平成 25 年度は都合により保健センターで 7 月と 3 月に実施。

【課題】

主なターゲットを壮中年期男性とし休日に開催したが、壮中年期男性の相談は少なく、開催方法や周知の仕方等について更なる検討が必要である。

【事業種別】 対面型相談支援事業

【準備期間・人数】

準備期間 : 1 回開催にあたり約 2 ヶ月 / 人数 : 事前準備 1 名、当日相談対応者 6 名

【予防段階】 1 次

【自治体規模】 人 口 258,241 人 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

財政規模 86,771,380 千円 (平成 25 年度最終予算額)

【自治体負担率】 無し (地域自殺対策緊急強化基金を使用している為)

【事業対象】 壮中年期男性

【支援対象】 壮中年期男性

【実施主体・問合せ先】

静岡県富士市保健部健康対策課成人保健担当

TEL : 0545-64-8993

E-mail : ho-kenkou@div.city.fuji.shizuoka.jp

URL : <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

【参考資料・文献】 不明

【作成日】 平成 29 年 6 月 7 日